

CASBEE[®]神戸ver.2

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2

(使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-8D_NC_2014v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療型障害児入所施設 サホ	階数	地上4F
建設地	兵庫県神戸市東灘区住吉山手7丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2022年2月15日
敷地面積	9,712 m ²	作成者	IAO竹田設計 山口隆幸
建築面積	3,650 m ²	確認日	
延床面積	11,396 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み 87% (161 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外の 87% (161 kg-CO₂/年・m²)
 ④上記+ 87% (161 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q3 室外環境(敷地内): 3
 LR1 エネルギー: 3
 LR2 資源・マテリアル: 3
 LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.8	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要	配慮の概要	配慮の概要
その他の配慮事項 特になし		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE神戸 ver.2 (仮称)医療型障害児入所施設 サポートハウスコロネ住吉 建設工事		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2		■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1		
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.40		-	2.8
1 音環境		2.2	0.15	2.6	1.00	2.2
1.1 騒音		2.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	共用部:2.5%、専有部:2.86%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.1	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	自然換気有効面積が居室床面積の1/10以上	5.0	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙である	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.8
1 機能性		2.4	0.40	3.8	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10㎡以上、かつ多床室8㎡以上確保	3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼=40年	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にBを使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				2.7	0.30	2.3	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30	1.6	0.50	
	1	階高のゆとり	壁長さ比率=0.17	1.0	0.60	2.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.73	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.84 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		"	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		節水コマ+節水型便器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		再利用できるユニット部材使用(OAフロア)	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			BEIm計算結果より	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.50	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの一部を満たす。広告物照明無し。	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	